

## 令和6年度 第4回 香川県公共事業評価委員会 議事録

1. 日 時：令和6年10月4日（金） 13時30分～16時30分

2. 場 所：香川県庁 本館12階 大会議室

3. 出席者：委員（敬称略）

委員長 白木 渡（香川大学 名誉教授）

副委員長 末永 慶寛（香川大学創造工学部 教授・学部長）

委員 佐藤 好美（佐藤好美建築工房 主宰）

池田 弘子（(株)人間科学研究所 所長）

福村 晃一（香川大学経済学部 准教授）

國村 一郎（(一社)香川経済同友会 専務理事）

玉置 哲也（香川大学創造工学部 准教授）

（6名出席）

4. 議 事

(1) 事後評価対象計画

下記の7計画について、事業主体が自ら行った事後評価の妥当性を審議した。

① 社会資本総合整備計画 市街地における高速道路IC等へのアクセス向上による地域活性化支援 [事業主体：香川県、観音寺市]

② 社会資本総合整備計画 安全で安心して利用できる公園づくりの推進（防災・安全） [事業主体：香川県]

③ 社会資本総合整備計画 みどり豊かで文化を育むまちづくり（第2期） [事業主体：高松市]

④ 社会資本総合整備計画 防災拠点となる公園づくり（防災・安全） [事業主体：丸亀市]

⑤ 社会資本総合整備計画 かがわの下水道整備10年概成プロジェクト（重点計画） [事業主体：香川県他11市町]

⑥ 社会資本総合整備計画 市街地における安全・安心な下水道づくり（防災・安全）（重点計画） [事業主体：高松市]

⑦ 社会資本総合整備計画 丸亀市における地域の暮らしを守る安全・安心な下水道づくり（防災・安全）（重点計画） [事業主体：丸亀市]

(2) 事業別審議結果

各計画の事業効果の発現状況として、計画番号②④⑦について、「十分な効果があった」、計画番号①③⑤⑥について、「一定の効果があった」と事業主体が評価したこと、また計画番号①～③及び⑤～⑦について「継続する」とした計画について「概ね妥当である」との意見を付す。委員からの主な意見は、以下のとおり。

- 「計画の目標」と「定量的指標」の関係がわかり難いので、次期計画では指標の内容を検討されたい。(計画①)
- 維持管理方法の検討も合わせて、引き続き整備を進められたい。(計画③)
- 災害時の利用だけでなく、平常時の施設利用率も高く保てるよう配慮されたい。  
(計画④)
- 災害を防ぐために重要な施設なので、引き続き計画的に整備を進められたい。  
(計画⑥)

— 以上 —